

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【片柳小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能	R4年度全国学習状況調査及び、市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「知識・技能」において2pt向上させる。 ⇒ ・タブレットパソコンを活用した、基礎学力定着プログラム(ドリルパーク・スタディサプリ)を授業や宿題等で実施する。(国語・算数)
思考・判断・表現	R4年度全国学習状況調査及び、市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「思考・判断・表現」において2pt向上させる。 ⇒ ・児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。 ・全学年において、発達段階に応じた「書く」課題を設定する。 ・アプリを活用して児童の思考の過程が、追えるようにすることにより、つまづきや課題を整理し、指導の改善に役立て、個別最適化の学習につなげていく。
主体的に学習に取り組む態度	R4年度全国学習状況調査及び、さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。 ⇒ ・授業の中で児童とともに課題を設定し、解決の動機付けを行い、自力解決する場を設定する。 ・「家庭学習の手引き」を作成し、個人面談の際に、家庭での自主学習の方法等について説明し、保護者との学力向上に向けた、協力体制を構築する。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度全国学習状況調査の自校結果と比較し、国語:+2.2pt 算数:-4.3であった。国語は漢字の活用に課題が見られ、算数では乗法の計算、正三角形の性質、百分率と割合の問題に課題があった。
思考・判断・表現	R5年度全国学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度全国学習状況調査の自校結果と比較し、国語:+0.6pt 算数:+3.3であった。自分の考えをまとめる問題や聞きたいことを中心をとらえる問題に課題が見られ、算数では底辺と面積の関係を記述する問題に課題があった。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答は83.1%と全国平均を4.3pt上回る結果が見られた。「学習した内容や、分かった点、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問項目においても、肯定的な回答は85.5%で全国平均を8.1pt上回っていた。この結果を維持できるよう、より一層授業改善に努めていく。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能	変更なし ⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし ⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし ⇒ 変更なし